

**製品名: ALPP ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21342**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:58kD;Observed MW:70kD

**抗原情報**

遺伝子名	ALPP
別名	ALPP;PLAP;Alkaline phosphatase; placental type;Alkaline phosphatase Regan isozyme;Placental alkaline phosphatase 1;PLAP-1
遺伝子 ID	250
SwissProt ID	P05187
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

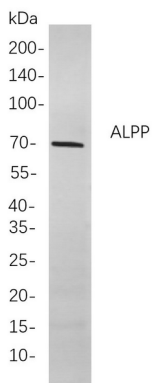
**背景**

細胞局在: 膜。この遺伝子によってコードされるタンパク質はアルカリホスファターゼであり、リン酸モノエステルの加水分解を触媒する金属酵素である。4つのアルカリホスファターゼアイソザイムからなる多重遺伝子ファミリーに属する。この酵素はホモ二量体として機能し、酵素機能に必要なマグネシウムイオン1個と亜鉛イオン2個を含む触媒部位を有する。このタンパク質は主に胎盤および子宮内膜組織で発現するが、卵巣腺癌、漿液性嚢胞腺癌、その他の卵巣癌細胞においても強い異所性発現が検出されている。  
[RefSeq 提供、2015年1月]

## 研究分野

-

## 画像データ



ALPP ウサギ mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。